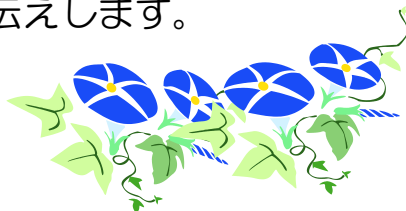


With コロナの中での支援

法人理事会、評議委員会が6月に開催され、2021年度の取り組みを振り返っての報告・協議がされました。先月号では、理事会での小島前理事長の報告の概要を紹介いたしました。今月号では、理事会等で協議された内容等についてお伝えします。



ハウスの展望について

評議委員会で医療的支援が必要とされる利用者への支援について話題となりました。また、まもなく訪れようとしている利用者の高齢化の対応についても、今後のハウスの利用者支援の充実に向けて検討を進めていかななくてはならない大きな課題であることが協議されました。今後もハウスの利用者一人一人の状況に応じた支援のあり方を検討していきたいと考えています。

職員充足と育成について

職員不足は、現在、どこの社会福祉法人においても課題となっています。私たちの法人においても同様な状況にあります。求人を取り組み断続的にしております。理事会でもさまざまな手だてを尽くして職員確保に努めるようご意見をいただきました。また、私たちの法人に職員としてお迎えることができた際には、利用者支援等に長く貢献していただけるよう、事業所ごとのきめ細かな職員育成を行っていきます。

コロナ禍の利用者サービスについて

2021年度のコロナ禍の中においても利用者サービスが途切れないうち、法人全体で工夫しながら支援の継続に努めてきました。2022年度においても切れ目がないサービスの提供となるよう力を尽くしてまいります。ご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



ド

リ

ー

ム

グ

イ

本

部

だ

よ

い

NO. 4

2022年
7月1日